

パブリックコメントで提出された意見の概要及び市の考え方

令和4年7月11日から令和4年8月10日までの間、海津市過疎地域持続的発展計画(案)について意見等の募集を行った結果、1人の方から1件の意見をいただきました。この意見について適宜要約したうえ、それに対する市の考え方を次のとおり公表します。貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。

NO	意見の概要	市の考え方
1	<p>【提案】子育て世代が集まる場所に「市民活動(サードプレイス)ステーション」を、(仮称)こども未来館に設置してほしい。</p> <p>子育て世代が、まちづくりを自分事として考え、主体的に活動することで、子育て世代や若者に選ばれるまちづくりにつながると考えている。</p> <p>子育て世代が集まる場所に、市民活動に対する相談や団体PRのできる場所、また活動のできる場所を設けることで、交流の場が広がり市民活動の盛んなまちに進展することが期待できることから、市民活動(サードプレイス)ステーション(仮)の新設を提案します。</p> <p>①市民活動団体への相談窓口 ・海津市公共施設への予約、受付、活動による各種相談</p> <p>②情報コーナー ・市内の市民団体の情報のほか、講座、助成金情報、団体が主催する催しなどのポスターやチラシの設置</p> <p>③協働ルーム ・ルーム使用料無料、必要設備無料使用</p> <p>④展示スペース</p> <p>⑤図書スペース ・市民活動に役立つ書籍</p> <p>⑥市民活動団体に貸出ロッカー、レターケース</p> <p>⑦印刷機の使用無料</p> <p>⑧ネット環境サポート ・市民活動のためのワークスペースを開設。</p>	<p>ご提案の市民活動ステーションを(仮称)こども未来館に設置することにつきましては、令和4年度から進めております(仮称)海津市こども未来館基本計画の策定過程において、子育て世代を対象としたアンケートやワークショップにより意見をいただき、備えるべき機能などを検討してまいります。貴重なご意見とさせていただきます。</p> <p>また、若者・子育て世代が、市政やまちづくりに主体的に参加できる場を提供し、若者・子育て世代に選ばれるまちづくりを積極的に推進する旨の記述を14ページの「(2) その対策 ア 移住・定住」の項目に追加します。</p>